

6月 市議会選挙 7月 参議院選挙

働く場所をもっと増やして

国保料が高く生活が大変

アスベスト放射性物質環境への不安なくしてほしい

安心して子育てしたい

# いのち・くらしがかかった選挙です

選挙で問われる3つの争点

デフレ脱却

## 賃金引上げ・雇用拡大でくらしの安心を

大企業の身勝手な首切りで失業、収入を断たれハローワークに通っても仕事が見つからず、持病が悪化—こんな相談が後を絶ちません。

アベノミクスで、物価は上がっても、労働者の賃金は上がらず、中小企業の倒産・廃業が続いています。民放テレビの調査に77.7%が「景気回復を感じない」と答えています。

雇用を安定させ、賃上げで個人消費を増やすことこそデフレ脱却への道です。大企業の内部留保260兆円のわずか1%を使うだけで月1万円の賃上げが可能です。

### 市内でお金が循環する経済政策を

国の経済対策の交付金などを活用して、市営住宅や生活道路の補修など生活密着型の公共事業を地元業者に優先発注するように提案。

### 経済効果、予算の20倍

予算の20倍もの経済波及効果のある住宅リフォーム助成制度の実施や太陽光発電設置補助金の復活を。

## 尼崎市議会選挙

告示日 6月9日(日)

投票日 6月16日(日)

市会議員

田村 いくお



市会議員

松村 ヤス子



地区市民・住民運動部長

徳田 みのる



市会議員

辻 おさむ



地区生活相談所長

川崎 としみ



市会議員

まさき 一子



党地区介護・福祉責任者

松沢 ちづる



市政のあり方

## くらし・福祉まもる 市政と市議会に

敬老パスの有料化・市民プールの廃止など…市民サービスは切り捨てられるばかり、今後も新たな行革が…。日本共産党以外の会派は、借金を増やした大型開発に反省もなく、財政難になると「もっと行革をやれ」と市をけしかけています。

財政難の原因となった大型開発の無駄をしっかりとチェックし、尼崎市が「福祉の増進」という自治体本来の役割を果たすようがんばっているのが日本共産党議員団です。

構造改善・市民の不便…

「市民サービス削減」190億円…中身を見ると

- 敬老パスの有料化
- 市民プール廃止
- 労働福祉会館廃止
- 年額7万円の被爆者団体への補助金廃止

さらに、学校開放事業の有料化では子どもの団体まで対象に(議会で否決)

職員1,277人を削減 その実態は…

- 支所機能の見直し⇒支所での住民票などの発券業務の停止
- 福祉事務所・保健センターの集約
- 保育所民間移管
- 給食調理業務の民間委託
- さらに市バスの民営化も…

改憲消費税原発

## NO!の市民の思いを

### 消費税増税NO!

アベノミクスで百貨店では、高級品を中心に売り上げ増、しかし、市民の生活は、食料品や光熱費の値上げで苦しくなるばかり。この上、消費税を上げれば、市民のくらしは、一層厳しくなります。無駄な軍事費を削り外交力を高め、大型公共事業を止めれば、増税しなくても財政再建も社会保障の充実も可能です。

### 憲法9条が国益まもる

武力で解決することはない—国際政治の現実です。

「二度と戦争をしない」と世界に誓った憲法9条、これを守ることが、日本の本当の平和の道、国益をまもる道です。憲法をまもる草の根の運動と一緒に「改憲連合」と対決します。

### 原発ゼロで雇用拡大

原発ゼロでも電力は足りる。市内でも太陽光など自然エネルギーの積極活用により切り替えれば、中小企業の仕事も雇用も増やせます。「原発マネー」に染まっていない党として「原発即時ゼロ」へ市民と力をあわせます。



左/毎年メーデー行進に参加  
右/3・11重税反対統一行動

尼崎民報

2013年5月号外  
日本共産党尼崎地区委員会 尼崎市南竹谷町1-44 電話 06-6411-6633  
日本共産党尼崎地区委員会が見解を発表しました。

7人を市政に

日本共産党

